

対談の一部書き起こし

AA 遠隔医療の技術については、例えば手術のほうは、いま実験的に大学などで行われていますが、遠隔による診断で慢性疾患のようなものは、地方では結構行われていると聞いたことがあります。ただ、一般にいうと、遠隔医療は規制がかかってしまっていて、なかなかできない現状があります。でも私は、遠隔医療を進めること自体は、基本的にはよいことではないかと思っているのです。

BB なるほど。そうですね。私も基本的には、遠隔医療はもっとポジティブに取り組んでいいのではないかと思っています。医療での対面原則も気持ちとしては分かりますが、日本には医師がほとんどない地域が結構たくさんあり、そのような金科玉条的な対面原則は、国民をかえって危険にさらしているのではないかという気がするのです。

AA そうですよ。

BB おそらく、そのような対面原則をいってしまうと、医療費がどんどんカットされてしまうのではないかと警戒されてしまいますし、医療費をそんなに増やせない現状において、国民の命を守るという観点から考えると、やはり遠隔医療はきちんとやっていくべきだと思うのです。

例えば DtoD がよいとか、DtoP とか、DtoN、ナース・プラクティショナーはどうするかとか、各論はいろいろあるとは思いますが。

AA ありますね。

BB ただ、看護系大学や大学院をあれだけつくったのですから、ナース・プラクティショナーを養成して、医師の指示、遠隔医療の下でナース・プラクティショナーがある程度の医療行為をするのは、いいのではないかと思っているのです。

AA なるほど。